平成 22 年度 継続事務事業評価シート 事業類型 V | 施設の管理・運営 1次評価のみ

	コード		:	名	称		区分	コード		名		称	
							会計	01	一般会計				
事業名	1128	青山町駅前広場管理経費		款	08	土木費							
					項	04	都市公園費						
基本	28	タルナ			目	05	公園費						
施策	20	球化を進め、	緑化を進め、公園や緑地を整備する				細目	383	公園施設維	持管理網	費		
行革	大綱の	重点事項番号			細々目	03	青山町駅前広場管理経費						
担当	たか 豊田			担当者	ф	山良憲	連絡先	52 ·	-	1114			
12 = 1	小林	名 称		青山	振興課		氏 名	中山良憲		建附元	(内線)		

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を) 近鉄青山町駅前公園に設置されたモニュメント及び照明灯						村象件数
成	:果(ど	うする)	からく	り人形や時計、	照明灯が正常に作動する。	
根据	処法令	·要綱等				
開始:	年度	平成	年度	00 v+ -+ -#k		
	冬了年度 平成			関連事業		
H21 事業内容	·モ=			里業務委託		
社会情勢 の変化等・計画的に継続実施しているが、年数が経過している為施設の修理等に経費がかかる。						

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

	(0) 是成」。是两手来了000亿人
1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運宮体制(「施設の建設」「施設の管理・運宮」のみ記人)								
1 運営主体	民間委託等							
委託先	∫ シチズンTIC							
2 配置人員	1人							
3 年間運営費	600 千円							
4 市内の 類似施設								

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

	指標名	単位 実績値				目標値		
活	11保口	平位		H20		H21	H22	H23
重	メンテナンス回数(からくり人形、時計)		目標	2	目標	2	9	2
指標			実績	2	実績	2	2	
	修理	4年 1	目標	1	目標	1	1	1
	修理		実績		実績	0	ı	'

Ī		指標名	指標設定の考え方	単位	実績値				目標値	
	成	旧保石	旧保政との考え力	平位	H20		H21		H22	H23
		管理作業実施率(作業実施施設	実施箇所が実績となる。	%	目標	100	目標	100	100	100
指	指	数/要管理施設数)	天心固別が天視となる。		実績	100	実績	100	100	100
	標	苦情件数	住民の満足度を指標とする。	件	目標	0	目標	0	0	0
	百用什奴	住氏の両足及を指標とする。	1+	実績		実績		U	0	

			H20 決	算	H21	決算	H22	当初予算	H23	当初要求
		直接事業費計(A)		(千円)		(千円)		(千円)		(千円)
40.		但按学术其前(4)		1,350		1,133		1,290		1,290
投	Α	国庫支出金								
4	႐ုစ္မ	県 支 出 金								
-	財源	地方債								
ŀ	内	その他								
•	訳	一般財源		1,350		1,133		1,290		1,290
		事業投入人件費(B)	0.1 人	720						
		フルコスト(A)+(B)		2,070		1,853		2,010		2,010

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に〇をつけてください)		備考欄(特記事項)
	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		BIN - N 154 / 1.5 bins 3., 544
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業		
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	0	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
必要性	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報 提供、相談等を目的とした事業		
'-	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	0	
	サービス水準や対象を見直す余地がある。		
達	当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改	善策】	
成	予算の繰越の有無		
度	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
٠	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
匆	【事業名】		
効率性	受益者負担を求めることができる事業である。		
1=	全体コストにおける負担構成は適正である。		
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	毎年、維持管理しているが、コスト低減について検討していく。 ————————————————————————————————————							
昨年度の 取組状況	【状況】 【詳細】	計画のとおり進んでいる						
	・モニュメン	・モニュメントの維持管理業務委託、照明灯の維持管理の実施。						

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	藤原	四郎						
	【方向性】		現状維持					
事業の方向性	【理由】							
	事業は引続き実施していくが、今後の課題として業務担当部署・執行方法等の検討が必要。							
現時点における								
課題、その他	特になし。							
課題、その他に 対する改善策								
(いつまでに、何 を、どうする)								